

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日:2025年1月8日

事業所名: 発達支援センター巢立ち
(放課後等デイサービス)

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	60	40	0	・自由時間の過ごし方によっては十分なスペースを完璧に確保しているとは言えないが、静と動のスペースを分けることで事故などは起きないようにしている。 ・子供が10名、職員が加わると狭く感じるときもある。	81	6	0	13	個人のロッカーが用意されているのでわかりやすい。	ロッカーを大きなものと交換し、使いやすくした。また、活動内容によって、保健センター内の多目的ホールや調理室、市内のスポーツセンター、図書館、コミカン等の公共施設を積極的に活用している。
	2 職員の適切な配置	40	40	20	・送迎等を考えると職員不足を感じる。 ・職員が休みの時は代替スタッフを備えて対処している。	77	8	0	15	・職員の専門まで把握しきれない。 ・スタッフの入れ替わりが多い。	職員が少ない場合は、生活支援員等の代替職員で対応してきた。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がい者の特性に応じた設備整備	60	40	0	掲示の仕方等わかりやすいように簡潔にイラスト等を等を入れるようにしている。	79	6	0	15	部屋の様子がわからないためどちらとも言えない。	活動内容によってマットの色分けを明確にし、安全で分かりやすい環境になるよう工夫してきた。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	40	60	0	・ロッカーを大きくし、ランドセルの出し入れがスムーズにできるようにした。 ・クールダウンできる部屋、横になってくつろげるスペースを確保してほしい。 ・壁紙が剥がれている所が多い。	92	4	0	4		毎朝、職員の検温、清掃やアルコール消毒を行っている。活動内容によって使用場所を色分けして使用している。学習の際は、学習室を使用している。クールダウンできる場所の確保は、現時点では難しいのが現状である。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	100	0	0	毎回のミーティングの時に振り返りをするようにしている。						毎朝のミーティングの中で、振り返りの時間をもち、実践につなげている。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	40	0	60	実施していない。						第三者による外部評価は未実施である。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
	3	職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	80	20	0	リモートの活用で定期的な研修の実施をしている。	/	/	/	/	毎月一回、オンラインを利用した職員研修を、また、年数回、教育支援室の先生を招いての研修を実施している。	
適切な 支援の 提供	1	適切に支援プログラムが作成、公表されているか	60	40	0		87	2	0	11	今年度中に作成予定である。	
	2	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	100	0	0		92	6	0	2	個々へのアセスメントを丁寧に行い、評価と課題、ニーズを踏まえた計画を作成する。	
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	80	20	0		94	2	0	4	モニタリングの内容を共有し、共通理解のもと支援に当たる。	
	4	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	100	0	0		/	/	/	/	利用者の個性や状況を理解し、個に応じた計画になるように取り組む。	
	5	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	100	0	0		85	8	0	7	ミーティングを通して、個々の特性を把握し、共通理解のもと、支援にあたるようにしている。	
	6	チーム全体での活動プログラムの立案	100	0	0		/	/	/	/	職員それぞれの個性を生かしつつ、全員で確認しながらプログラムを決定してきた。	
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	100	0	0		89	6	0	5	毎月決まったものもあるが、新しい活動も取り入れてもらっている。	職員が得意分野を生かした内容や、季節感のあるもの、子どもの興味・関心の高いものを積極的に取り入れるようにしてきた。
	8	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	80	20	0		/	/	/	/	長期休暇中は、午前・午後に活動があるため、平日では体験できにくい内容の活動を積極的に取り入れてきた。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供 (続き)	9	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	100	0	0						毎朝、支援内容や役割分担等について全職員で確認している。
	10	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	100	0	0						当日か翌日、振り返り→実践となるように職員間で話し合いの機会をもち、共通理解を図っている。
	11	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	100	0	0						毎日、活動記録を残し、支援の改善や目標設定に役立てている。また、記録を全員で回覧することで、情報の共有化を図っている。
	12	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	100	0	0						定期的にモニタリングを実施することで、保護者のニーズを把握し、今後の見直し、改善に努めている。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	100	0	0						可能な範囲で参加するよう心掛けている。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	40	60	0						現在は受け入れができていない。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	20	60	20						現在は受け入れができていない。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
携 関係機関との連携（続き）	4	100	0	0	・毎月、送迎予定表とともに子供の様子を各学校宛に送付している。また、送迎時に児童の様子も聞いたり、文書や電話でやり取りをしている。 ・各校の先生には長期休暇中に事業所に訪問していただき、活動の様子を見ていただいている。						児童発達から引き続き利用する子どもについては、情報を共有して関わっている。各学校とは、予定表送付時に様子を伝え、連携を図っている。
	5	60	40	0	相談支援事業所を通してケース会議等で情報提供している。他の事業所とは電話などで連絡を取ることがある。						必要に応じて、できる範囲で情報提供に努めている。
	6	60	40	0	教育支援室と連携している。						リモートを活用し、専門的な研修の機会がふえた。
	7	0	60	40	コロナ以降、児童館へ大勢で出向かなくなった。	32	11	13	44	長期休暇の利用では活動内容により交流の機会もあるが、長期休暇以外は少ないと感じる。	活動の中で、児童館の活用を行った。
	8	40	20	40							保護者参加の夏祭りを実施しているが、地域との交流は進んでいないのが現状である。
保護者への説明	1	100	0	0		92	4	0	4		利用開始前の話合いの中で、丁寧な説明に努めている。
	2	80	20	0		91	4	2	3	活動の説明をしている時、周囲が騒がしく聞き取りにくいことがある。	利用開始前の話合いやモニタリングの際に、課題やニーズを共有しながら計画を作成し、丁寧な説明に努めている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標		
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見	
責任・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	60	40	0	職員から保護者にモニタリングや送迎時にペアレントトレーニングのことを提案することはある。	49	13	13	25	研修等を通じて専門知識を身に付け、適切なアドバイスができるように努める。	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	100	0	0	送迎時にできる限り子供の様子を保護者から聞くようにし、今の状況を把握するように心がけている。	85	13	0	2	担当の職員から丁寧な報告がある。	引き渡しの際や、モニタリングを通して、子どもの状況を伝え、共通理解のもと、個々に応じた対応に努める。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	100	0	0	できる限り個別で行っている。	81	6	8	5	引き渡しの際や、モニタリングの中で、保護者の願いに寄り添った対応に努める。	
保護者への説明責任・連携支援（続き）	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	0	100	0	年に2回程度ペアレントメンターさんを招き、座談会を実施している。	38	15	6	41	支援は整っているが、参加できないことが多い。	保護者会はないが、教育支援室と連携を取り、ペアレント・メンターとの座談会を定期的に開催してきた。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	100	0	0		60	8	0	32	迅速に、誠意ある対応に心掛けてきた。	
	8	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	100	0	0		81	11	0	8	共通理解のもと、個々の特性に応じた方法で伝えるよう心掛けている。研修等を通じて、職員一人一人の資質向上を目指す。	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	80	20	0		66	9	0	25	毎月、活動予定を家庭送付している。また、活動の様子について、会報で定期的に発信してきた。	
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	100	0	0		87	4	0	9	個人情報の取扱いについては、職員間で確認しながら注意してきた。	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	60	40	0	アセスメント時には伝えている。	68	11	6	15	認識不足でわからない。	今年新たに、感染症対応マニュアルを作成した。保護者への周知について検討していく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	80	20	0		55	9	2	34		その時の利用者の協力で、保健センター内の避難訓練や、県主催の原子力防災訓練、津波避難訓練に参加している。
	3 服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況の確認の実施	100	0	0		/	/	/	/		服薬時、与薬依頼書と薬剤情報提供書を提出してもらい、共通理解のもと行うようにしている。てんかんについては、対応を保護者から伺い、てんかん発作時のマニュアルを作成し、共有している。
	4 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	20	80	0	アセスメント時に聞き取りを行い、該当児には、医師の指示書や薬、マニュアルを提示してもらうようにしている。	/	/	/	/		保護者との面談を通して実態把握に努めている。おやつ提供やクッキングの際には、その都度確認するようにしている。
非常時等の 対応（続き）	5 安全管理の徹底	60	40	0		75	8	0	17		安全計画を策定しており、それに従った取組をしている。
	6 家族等との連携を図るため、安全計画に基づく取組内容についての家族等へ周知	60	40	0		79	8	0	13		本施設利用の際に説明しているが、さらに機会をとらえ、継続した周知について検討する。
	7 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	100	0	0		/	/	/	/		事例がある場合、ヒヤリハットに記録を累積し、共通理解のもと対応している。
	8 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	80	20	0		/	/	/	/		虐待防止委員会を設置し、職員研修を実施している。日々、職員間で情報交換するようにしている。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
9	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	60	40	0		/	/	/	/		身体拘束適正化委員会を設置し、職員研修を実施している。現在、具体的な事例はない。